

普及活動情勢報告（令和8年5月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

データに基づく栽培管理を検討しましょう ～露地オクラに環境測定装置を設置～



ほ場に環境測定装置を
設置する様子

4月14日、須崎市浦ノ内で、JA土佐くろしおオクラ研究会の2人が、露地オクラのほ場に環境測定装置を設置しました。

農業改良普及課は、SAWACHIおよび環境測定装置を導入するメリットと環境データの活用方法について説明しました。

参加者からは、「トンネル内の温度推移を見てみたい」「土壌水分率やpF、ECのデータが気になる」といった意見がありました。

農業改良普及課は今後も、生産者の目標達成に向けて露地オクラのデータに基づく栽培管理を支援していきます。

ヒートポンプを利用した高温期の腐敗対策 ～JA土佐くろしおみょうが部会目慣らし会～



高温期のヒートポンプ稼働
について説明する普及職員

4月14日から21日の期間、JA土佐くろしおみょうが部会の目慣らし会が3か所の出荷場で開催され、のべ200人が参加しました。

農業改良普及課は、環境測定装置を活用したハウス内温度確認の重要性、高温期の夜間のヒートポンプ稼働について説明しました。

参加者からは、「ハウス内の温度変化をなだらかにすることが重要だと分かった」「ヒートポンプを何台も導入するのはコスト的に難しい」といった意見がありました。

農業改良普及課は今後も、環境測定装置やヒートポンプ等を用いた適切な温度管理を周知し、花蕾の腐敗抑制・収量増加に向けて指導していきます。

適期防除の徹底に向けて ～JA高知県津野山なす部会現地検討会～



現地ほ場を見学する
生産者

4月15日、JA高知県津野山なす部会の現地検討会が開催され、5人が参加しました。

農業改良普及課は、農薬使用記録簿を配布して農薬の安全使用と適期防除について指導しました。

参加者からは、「去年はコナジラミが多発したため、今年は早めの防除を実施する」「防除の時に葉面散布も一緒にしていいのか」といった活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は今後も、個別巡回等を通して、栽培管理の向上に向けて指導していきます。

集落営農組織間の連携も視野に ～梶原町東川集落営農組合設立～



東川集落営農組合設立総会

4月20日、梶原町東川で集落営農組織の設立総会が開催され、組合の設立並びに役員が全会一致で可決されました。

農業改良普及課は、作業受託料金を近隣の集落営農組合等と統一したことを説明し、継続的な組織運営のため集落営農組織間の連携体制整備を進めていくよう呼びかけました。

参加者からは、「視察に行きたい」「面白い取り組みもやってみよう」といった意見がありました。

農業改良普及課は今後も、東川集落営農組合の運営支援だけでなく、近隣との連携調整を推進し、効率的な耕作に繋がる仕組み作りを支援していきます。

効率的な樹形を作ろう ～JA高知県津野山ゆず部会誘引講習会～



ユズの樹形について説明する
普及指導員

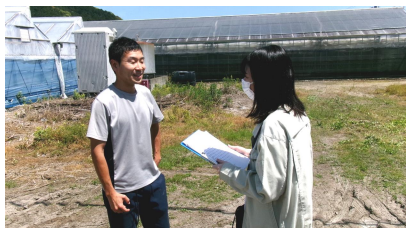
4月22日、5月8日の2日間、JA高知県高西営農センター津野山経済課管内の3地区で、誘引講習会が開催され、のべ13人が参加しました。

農業改良普及課は、樹形の大切さや誘引の時期、枝を誘引する方向、必要ない枝の処理について説明しました。

参加者からは、「誘引する枝の角度はどのくらいか」「切り返す場所はどこがいいか」といった質問がありました。

農業改良普及課は今後も、部会活動を中心にJAと協力して津野山ゆず部会の生産技術向上に取り組んでいきます。

新規就農者の情報収集 ～新規就農者調査の実施～



新規就農者から聞き取りを
行う普及指導員

4月28日から、令和7年度に就農した人を対象とした新規就農者調査の一環として、管内で就農した12人に対して個別面談を実施しています。

農業改良普及課は、就農動機や情報収集先、現在の栽培品目や状況等について聞き取り、適宜栽培指導や助言を行いました。

新規就農者からは、「研修に行きたかったが、作業が忙しく行けなかった」「今年から弟も就農したため、将来は兄弟で父親の後を継ぐつもりだ」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、新規就農者の情報を整理し、新規就農者の確保と育成に向けて支援していきます。